

# 社会インフラに関わる企業だからこそできる 震災復興支援

道路を中心とした社会基盤の整備を担う企業として、災害時にその重要インフラの復旧および復興に尽力するのは、私たちの使命です。東日本大震災の発生から10年余、甚大な被害を受けた福島県浜通り地域の復興に向けて、当社が歩んできた道のりを迎えます。

## 1 2014年5月～2015年3月 常磐自動車道双葉工区舗装工事を完了

東日本大震災の影響で中断された常磐自動車道の福島県双葉工区の舗装工事を再び受注し、施工を再開したのは、震災から3年以上が経過した2014年5月のことです。中断前に施工した未完成工区にひび割れなど震災の爪痕が残るなか、復興への第一歩として、寸断された道路の早期復旧・開通を使命に工事に臨みました。作業区間の大半が帰還困難区域だけに、被ばく管理を徹底しながらの作業を余儀なくされたものの、2015年3月、予定工期を1年3カ月短縮して完工し、仙台までの全区間開通に至りました。

## 2 2016年4月1日 東北支店 浜通り復興営業所の設立

福島県の沿岸地域（浜通り）における復興業務の拠点として、東北支店浜通り復興営業所を開設しました。職員一同、復興への想いを胸に業務に取り組んでいます。

## 3 2018年10月2日 福島県双葉町と企業立地協定を締結

福島県双葉町は企業誘致によって地域経済の復興を加速するため、同町中野地区を「働く拠点」として整備する中野地区復興産業拠点の計画を進めていました。大林道路は常磐自動車道双葉工区の建設工事を担当した縁で、双葉町の復興には並々ならぬ強い想いを抱いており、復興への先駆けとなるべく、双葉住コン株式会社との工場設立に向けて双葉町と企業立地協定を締結しました。

### 復興へのメッセージ 〈浜通り復興営業所〉



#### 一日も早い避難指示の解除を願って

東北支店 浜通り復興営業所／工事長  
澤園 佳稔

震災から10年が経ち、福島県の復興は遅々としながらも、下水道の復旧工事、除染工事、道路の整備工事、常磐自動車道の4車線化工事、防波堤工事などインフラ整備は着実に進んでいます。一日でも早く避難指示の解除が行われ、住民の皆様の安全・安心な暮らしが戻ることを願いながら、心を込めた仕事で福島県の復興に貢献したいと思います。



#### 少しでも復興に貢献したい

東北支店 浜通り復興営業所  
齊藤 正裕

2013年1月より復興工事に携わっています。当時携わった楡葉町沿岸部の現場は津波でがれきが散乱し、道路の陥没も散見されました。その後下水道や道路の復旧などの工事に携わり、あっという間の10年でした。今年で60歳を迎え当社で過ごす時間は限られますが、少しでも復興に貢献していきます。

常磐自動車道

復興シンボル軸  
(県道)

1 双葉工区

双葉町

3 中野地区復興産業拠点

中野地区復興産業拠点は常磐自動車道双葉ICと復興シンボル軸で結ばれた双葉町復興の先駆けとなる地区です。

4 双葉中央アスコン

## 2021年3月12日 壁画プロジェクト



© OVER ALLsCo.,Ltd.

## 4 2019年3月25日 双葉中央アスコン 起工式 2019年12月21日 アスファルト合材工場 稼働開始(火入れ式) 2020年10月19日 破碎中間処理施設 完成

社会インフラの整備は復興への出発点であり、特に道路は重要な役割を担います。当社は双葉町に本社を置く双葉住コン株式会社と共同企業体として双葉中央アスコンを設立し、中野地区復興産業拠点にアスファルト合材工場およびがれき類を再生材料にする中間処理施設を建設しました。

2019年12月の火入れ式には双葉町長をはじめとする関係者約100名に参列いただき、復興産業拠点に進出する企業の操業第一号として、復興に向けた一歩を踏み出しました。翌年10月には破碎中間処理施設が完成し、双葉中央アスコンの業務が本格的に始まりました。



アスファルト合材工場



破碎中間処理施設

双葉中央アスコンは双葉町の早期復興を願う壁画プロジェクト「FUTABA Art District」に協力し、工場の敷地外壁を壁画用キャンパスとして提供しました。壁画は「次の未来を見据える」という意味を込めて、震災発生翌日の3月12日に完成しました。



双葉中央アスコン火入れ式

アスファルト合材工場の火入れの様子

### 復興へのメッセージ 〈双葉住コン様／大林道路〉

#### 地域に寄り添い復興に貢献していきたい

双葉住コン株式会社／取締役

川中 茂 様

地元企業として復興に貢献したいと再スタートを切望していたところに、大林道路株式会社様から復興・復旧の一端を担いたいとお声がけをいただき事業を継続することができました。今後も地域の皆様に寄り添い復興に貢献していきます。

#### 再びにぎわいが戻る日が来ること信じて

大林道路株式会社 東北支店 合材部／副部長

松田 良夫 様

震災復興工事は着実に進んでおり、中野地区復興産業拠点への進出を希望する企業も確実に増えています。双葉町を含む福島県浜通り地域に、再びにぎわいが戻る日が来ることを信じて、日々業務に邁進していきます。

2 東北支店  
浜通り復興営業所